

再エネ促進区域・
ゾーニング分野

生態系サービス
マッピング分野

日本の環境政策分野における Web-GIS型AIプラットフォームの活用 ～ARIESアプローチ～

東京

日時 : 令和5年12月5日 (火) 15:00～17:00
開場 14:40

参加形式 : 現地及びオンライン

現地会場 : 東京・虎ノ門ホール (裏面地図参照)

参加費 : 無料

(現地参加及びオンライン 各30名程度)

参加希望者は以下のweb formよりお申し込みください

<https://forms.office.com/r/s7X8rnQjrN>

申し込み期限 : 11月30日 (木) 12時 ※定員に達し次第、締切



Program 講演①のみ英語、その他日本語

講演① Ferdinando Vilia 教授 (Basque Centre for Climate Change, Spain)
「ARIES、web-GIS型AIプラットフォーム (k.LAB) の概要説明
デモンストレーション」

講演② 林 希一郎 教授 (名古屋大学)
「エネルギー・環境評価ツールを用いた事例研究成果の紹介
ARIES・k.LAB日本モデル①」

講演③ 岡澤 宏 教授 (東京農業大学)
「エネルギー・環境評価ツールを用いた事例研究成果の紹介
ARIES・k.LAB日本モデル②」

発表者、コメンテーターを含めたディスカッション、質疑応答
コメンテーター 入江仁士 教授 (千葉大学)

主催 : 名古屋大学 未来材料・システム研究所 林研究室

後援 : 日本環境共生学会

本講演会は千葉大学環境リモートセンシング研究センター共同利用研究(2023)の支援を得ています。

会場案内



虎ノ門ホール 2F会議室

東京都港区西新橋1-9-5
酔心興栄ビル 2階

東京メトロ銀座線「虎ノ門」駅
より徒歩3分
都営地下鉄三田線「内幸町」駅
より徒歩3分
JR山手線「新橋」駅
より徒歩8分

Overview

政策ニーズに合致する分析を、簡素に、視覚的なインターフェースで実施する地球環境分析プラットフォームの政策応用・社会実装可能性を問う

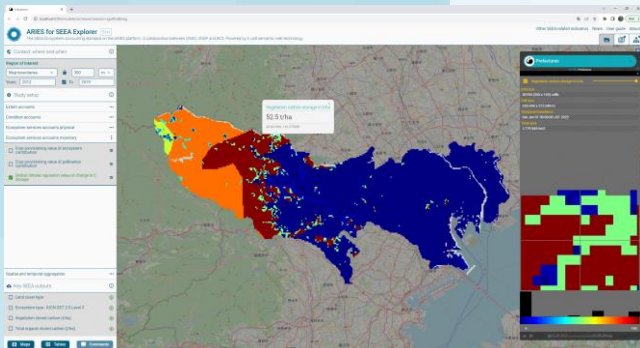
現在の地球環境分析はGISソフトウェアが中心となっていたが、近年の研究ではより簡易に操作ができ、実務者レベル導入がより現実的となるプラットフォームが提案され始めている。

ARIESは、生態系サービスの代表的な統合モデル開発を目的に、BC3 (Basque Centre for Climate Change BC3, Spain) が中心となり進めている研究プロジェクトである。ARIESでは、web-GIS型の環境・持続可能性評価独自プラットフォームを使用しており、国連環境計画 (UNEP)、国際連合経済社会局 (UN DESA) が環境・経済勘定 (SEEA EA) の評価を行う公式ツールとして既に政策分野として既に活用されている。

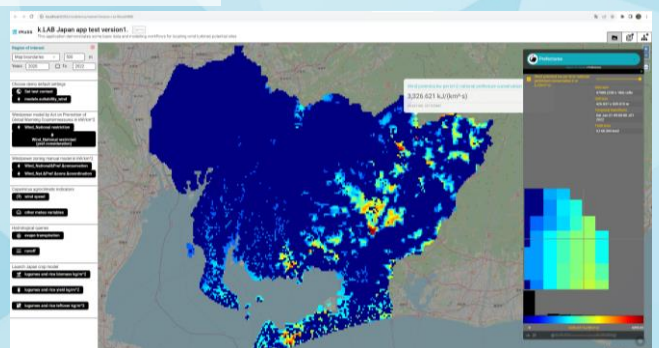
ARIESの強みはシンプルなインターフェースを有することであり、エンドユーザーレベルで操作可能な簡便性を持つ。近年では「再エネ促進区域に関連するゾーニング分野」や「生態系サービスマッピング分野」といった具体的な日本の政策に関連した研究が報告されている。

本講演会では、ARIESの概要及び近年の研究成果を説明するとともに、日本の環境政策への具体的な活用可能性等について議論を行う。

ARIESによる評価モデル一例



農業バイオマス推計モデル



陸上風力適地候補抽出モデル



お問合せ先

講演会申し込みについて：名古屋大学未来材料・システム研究所林研究室担当長島・大片

TEL 052-747-6438 受付時間：10：00～17：00（平日）

k.LABについて：担当 林 E-mail: maruhaya98—(at)imass.nagoya-u.ac.jp